

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
【発行日】平成 19 年 3 月 29 日 (2007.3.29)

【公開番号】特開 2006-154330 (P2006-154330A)  
【公開日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)  
【年通号数】公開・登録公報 2006-023  
【出願番号】特願 2004-345180 (P2004-345180)  
【国際特許分類】

**G 0 3 G 15/16 (2006.01)**

【F I】  
G 0 3 G 15/16

【手続補正書】  
【提出日】平成 19 年 2 月 14 日 (2007.2.14)  
【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

ベルトと、ベルト端部に設けられベルト寄りを規制するベルト寄り規制部材と、端部がベルト寄り規制部材に接触してベルト寄りの規制に寄与する第 1 のローラと、回転数を測定し可能に構成されベルト速度制御に寄与する第 2 のローラとを備えるベルトユニットにおいて、

前記第 2 のローラの端部は、前記第 1 のローラの端部よりベルトの内側に設置されることを特徴とするベルトユニット。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のベルトユニットにおいて、

前記ベルトを駆動する駆動ローラを備え、

前記第 2 のローラが前記駆動ローラに対しベルト張り側に設置されることを特徴とするベルトユニット。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載のベルトユニットにおいて、

前記第 2 のローラと前記第 1 のローラとの最短距離の間に他のローラが介在しないことを特徴とするベルトユニット。

【請求項 4】

請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載のベルトユニットにおいて、

前記第 1 のローラは前記ベルトを駆動する駆動ローラであることを特徴とするベルトユニット。

【請求項 5】

請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載のベルトユニットにおいて、

前記第 1 のローラとは別に、ベルトに張力を付加するテンションローラを備えることを特徴とするベルトユニット。

【請求項 6】

請求項 1 ないし 5 のいずれかに記載のベルトユニットにおいて、

前記第 2 のローラの回転軸の周方向に形成されたマーカと、回転軸の周面に対向して配置され、回転軸の周方向に形成されたマーカを検知する検知手段と、回転軸に摺動するとともに、検知手段を支持するホルダとを備える

ことを特徴とするベルトユニット。

【請求項 7】

請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載のベルトユニットにおいて、  
前記ベルトは電子写真プロセスに使用される中間転写ベルトである  
ことを特徴とするベルトユニット。

【請求項 8】

請求項 1 ないし 7 のいずれかに記載のベルトユニットを使用して電子写真プロセスによ  
り画像形成する  
ことを特徴とする画像形成装置。